

連合農学研究科特別リサーチ・アシスタント(通称 RA Plus)選考要項

〔平成26年2月14日〕
第306回代議委員会

連合農学研究科では、通常のリサーチ・アシスタント(RA)制度に加え、2019年度からは、本研究科の予算により、全学年の優秀な学生に対してリサーチ・アシスタント雇用を促進し、若手研究者の研究遂行能力のさらなる育成支援はもとより、経済的支援策をさらに推し進めることとした。

1. 対象者

在学生(国費留学生、社会人学生、学術振興会特別研究員(DC1, DC2)および過年度学生は除く。)

2. 年度採用者数

10名程度

3. 募集期間及び支援期間等

| 募集期間 | 支援期間 ※ | 支援額 ※ |
|---------|---------|-------|
| 第1回(3月) | 5月～翌2月 | 50万円 |
| 第2回(9月) | 11月～翌8月 | 50万円 |

※平成30年4月入学者が応募する場合、3年次の者は支援期間を令和2年11月～令和3年2月とし、支援額を25万円とする。

4. 選考基準

- (1)最近1年間(第1回募集は昨年4月～今年3月末まで;第2回募集は昨年10月から今年9月末まで)の成果を点数化して合計したものを持ち点とする。
- (2)持ち点の多い者より順位を付して選考する。
- (3)成果の点数化は別表により行う。

5. 選考委員会

選考基準に従い、代議委員会において採用者を選考する

6. 推薦に必要な提出書類等

- (1)推薦書(主指導教員が作成)(別紙1)
- (2)成果一覧表(別紙2)
- (3)成果資料
 - a)学術論文(学術雑誌, その他);論文のコピー
 - b)学会発表;発表要旨および発表者・講演会・日時等が明記されたプログラムのコピー
 - c)著書(単著, 共著, 分担執筆);著書および表題・ISBN番号等が明記された部分のコピー
 - d)受賞・表彰(所属学会等で受賞・表彰を受けた場合);証明するもの
 - e)発明;特許公報等のコピー
 - f)特筆すべき活動状況(ボランティア活動その他の社会貢献活動の実績);証明するもの

別表)

連大特別リサーチアシスタントの研究成果点数化基準

| 評価項目 | | | 点数 | |
|-----------------------------------|---|-----------|--------------|-------|
| 学術論文 | 学術雑誌 | 英文 | 単著 | 8-10点 |
| | | | 共著 (第一著者) | 5-7点 |
| | | | 共著 (第一著者でない) | 1-2点 |
| | | 和文 | 単著 | 6-8点 |
| | 共著 (第一著者) | | 4-6点 | |
| 共著 (第一著者でない) | 1-2点 | | | |
| その他 | 大学・国公立研究機関の学術報告書, 総説・解説書 (単著または第一著者) | | 1-3点 | |
| 学会発表 | 招待講演 | 国際学会 | 単独 | 6-8点 |
| | | | 連名 (発表者) | 4-6点 |
| | | | 連名 (発表者でない) | 1点 |
| | | 国内学会 | 単独 | 6点 |
| | | | 連名 (発表者) | 4点 |
| | | | 連名 (発表者でない) | 1点 |
| | 一般講演 | 国際学会 | 単独 | 3-5点 |
| | | | 連名 (発表者) | 2-3点 |
| | | | 連名 (発表者でない) | 1点 |
| | | 国内学会 | 単独 | 3点 |
| | | | 連名 (発表者) | 2点 |
| | | | 連名 (発表者でない) | 1点 |
| 受賞・表彰 | 学位論文に関する研究論文で受賞・表彰を受けた | | 1-5点 | |
| 著者その他 | 単著 | | 10-15点 | |
| | 共著 | | 8-12点 | |
| | 分担執筆 | 単著 | 5-7点 | |
| | | 共著 (第一著者) | 2-4点 | |
| 共著 (第一著者でない) | | 1点 | | |
| 発明 | 特許, 実用新案等を取得した | | 2-5点 | |
| | 特許, 実用新案等を出願した | | 1-3点 | |
| 特筆すべき活動状況 (ボランティア活動その他の社会貢献活動の実績) | | | 1-2点 | |

- 1) 第1回募集は昨年4月～今年3月末まで、第2回募集は昨年10月から今年9月末までの1年間の成果。
- 2) 受理済論文・発表予定の学会発表の取り扱い：成果として認める。ただし、次年度には重複して認めない。
- 3) 審査中論文の取り扱い：要修正過程の論文については認める (minor revision, major revision 等の審査結果が証明できるものを添付のこと)。ただし、次年度には重複して認めない。
- 4) 受賞・表彰日が対象期間以降となる場合の取り扱い：成果として認める (決定したことが証明できるものを添付のこと)。ただし、次年度には重複して認めない。